

木造軸組外壁

EXH-Y16

ケイミュー 窯業系サイディング仕様

外装材は、ケイミュー（株）の窯業系サイディング「ネオロック・16,18」、「フラットデザインパネル」（16mm厚）、「フィルテクトN・16」、「次世代外装パネルレジェール」（21mm厚）全商品が使用可能です。「エクセレージ」および「セラディール」は使用できません。

窯業系サイディングは、横張りに限定となります。

30分防火構造 国土交通大臣認定 PC030BE-4096

防火構造の施工仕様書

[令和7年12月版]



ケイミュー株式会社

光セラ®・親水コート®はケイミューの登録商標です。



YOSHINO

安全で快適な住空間を創る **吉野石膏**

はじめに

この施工仕様書は、表紙に記載してある防火構造認定の条件を満足するための推奨施工方法を示したものです。本書を基に現場毎の施工要領書および施工計画書の作成をお願いいたします。

尚、施主や設計者の指定による特記仕様等で本書に記載が無い場合は、防火構造認定書別添にて認定条件の範囲であることを確認の上、施工要領書および施工計画書に反映させてください。

適切な施工管理体制にて施工をしていただくために

特定共同住宅の住戸等と住戸等の界壁を乾式耐火壁にて施工する場合は、“特例基準「消防法施行令第29条の4」”に基づいた総務省令第40号、その細目を定めた消防予第188号および500号通知の内容を遵守する義務があります。その500号通知には乾式耐火壁の施工条件として、「適切な施工管理体制が整備されている場合」と明記されております。

「適切な施工管理体制が整備されている場合」とは、

1 乾式壁の施工方法

住戸等と住戸等との間の防火区画を形成する壁のうち乾式のもの（以下「乾式壁」という。）の施工方法が、当該乾式壁の製造者により作成された施工仕様書等により明確にされており、かつ、その施工実施者に周知されていること。

2 施工現場における指導・監督等

乾式壁の施工に係る現場責任者に当該乾式壁の施工に関し十分な技能を有する者(乾式壁の製造者の実施する技術研修を修了した者等)が選任されており、かつ、当該現場責任者により施工実施者に対して乾式壁の施工に係る現場での指導・監督等が行われていること。

3 施工状況の確認等

乾式壁の施工の適正な実施について、自主検査等により確認が行われ、かつ、その結果が保存されていること。

4 その他

ア 施工管理体制の整備状況については、当該特定共同住宅等の施工全般に係る責任者の作成する施工管理規程等により確認すること。

イ 乾式の壁と床、はり等の躯体との接合部の耐火処理については、特に徹底した施工管理を行うこと。

上記は、施工現場で乾式戸境壁の耐火性能を確保するために施工管理体制を整備することを目的としております。この考え方は戸境壁以外の外壁防火壁を施工する際にもあてはまることから、適切な施工管理体制の整備をお願いします。

目次

①総則

- 1-1 適用範囲
- 1-2 施工計画書の作成と周知徹底
- 1-3 施工中の疑義
- 1-4 検 査

②安全対策

③せっこうボードの荷姿、運搬、保管

- 3-1 荷 姿
- 3-2 運 搬
- 3-3 保 管
- 3-4 残材処理、清掃

④サイディングの荷姿、運搬、保管

- 4-1 荷 姿
- 4-2 運 搬
- 4-3 保 管
- 4-4 残材処理、清掃

⑤材 料

- 5-1 主構成材料
- 5-2 副構成材料

⑥施工要領

- 6-1 標準施工手順
- 6-2 施工要領

⑦検 査

- 7-1 自主検査
- 7-2 立会い検査

⑧認定書

防火構造

⑨水平断面図

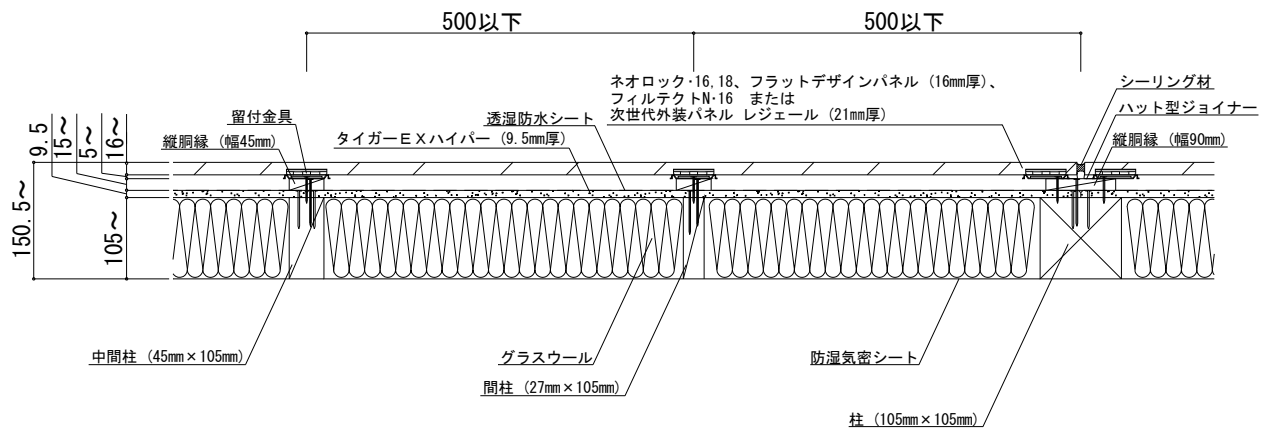
① 総則

1-1 適用範囲

この施工仕様書は、木造軸組外壁 EXH-Y16 ケイミュー 窯業系サイディング仕様について適用する。

木造軸組外壁 EXH-Y16 ケイミュー 窯業系サイディング仕様
30分防火構造 国土交通大臣認定 PC030BE-4096

水平断面図



※本書の図面寸法値は、各部材の公称寸法を記載しております。

※外装材は、ケイミュー (株) の窯業系サイディング「ネオロック・16, 18」、「フラットデザインパネル」(16mm厚)、「フィルテクトN・16」、「次世代外装パネル レジュール」(21mm厚) 全商品が使用可能です。「エクセレージ」および「セラディール」は使用できません。

※サイディングは横張り、胴縁は縦胴縁に限定となります。

※縦胴縁なしの通気留付金具工法も施工が可能です。

※外被材付きのグラスウールを使用する場合は、当防火認定上、防湿気密シートは省略可能です。

※内装材 (被覆材) の記載がない当認定につきまして「令和7年6月30日付国住指第150号、国住参建第1574号に関するQA」の通り、防火構造の外壁の認定であって屋内側についての記載がないものにおいては、加熱面以外の面となる屋内側は、大臣認定仕様への適合の必要がある範囲ではないため、屋内側に内装材 (被覆材) を設けることは大臣認定不適合とはなりません。内装材 (被覆材) を採用する場合は、あらかじめ指定確認検査機関などに必ずご確認ください。

1-2 施工計画書の作成と周知徹底

木造軸組外壁 EXH-Y16 ケイミュー 窯業系サイディング仕様の施工に際しては、この施工仕様書、吉野石膏 (株) の「タイガーEXハイパー耐力壁【木造軸組大壁工法 4仕様】」施工仕様書およびケイミュー (株) の「外壁材設計施工マニュアル」を基に現場毎に施工計画書を作成する。事前に説明会、その他の方法で、作業員全員に周知徹底を図る。

1-3 施工中の疑義

施工中、施工計画書に明記されていない事項、または疑義が生じた場合は、認定条件を確認の上、設計者・建築元請業者などと施工方法を検討する。

1-4 検査

施工業者は、工事が完了した時点で自主検査を実施した後、建築元請業者の監督員に報告し、検査を受ける。

② 安全対策

建築元請業者の安全方針に従って対策してください。

《タイガーボード類の注意》

- *指定の用途以外にご使用の場合は、十分に性能を発揮できない場合があります。
- *タイガーEXハイパーを施工する際の切断作業では集塵などに留意し、防塵カッターや集塵丸鋸を使用してください。また、サンディングなどの作業で発生する粉塵に対しては、防塵マスクや安全メガネを着用してください。
- *在庫の際、積層段数が多いと荷くずれの危険があります。
- *タイガーEXハイパーの廃材、洗浄排水の処理については、環境公害とならないようご注意ください。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの法令に基づき適切に処理してください。

《サイディングの注意》

- *切断工具、保護具、保管方法、残材処理などケイミュー（株）の「外壁材設計施工マニュアル」などに従ってください。

③ せっこうボードの荷姿、運搬、保管

3-1 荷姿

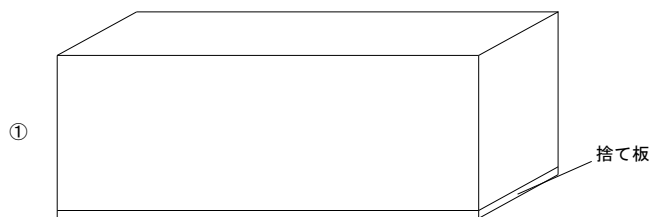
保管荷姿は、通常、タイガーEXハイパー（9.5mm）で120枚または100枚を1山としてある。

3-2 運搬

タイガーEXハイパーの搬入は、建築元請業者の監督員との打ち合わせにより、現場の搬入計画に基づいて行う。

3-3 保管

- (1) 荷くずれ、角欠けがないように均等に置く。
- (2) 傾斜面、墨出し部には置かない。
- (3) 凸凹面や水漏れ部には置かない。上階から漏水の恐れがある場合や屋外の場合は、あらかじめシートなどでタイガーEXハイパーが濡れないように養生する。
- (4) タイガーEXハイパーの保管は、波打ち、そりがでないように下図のように、高さのそろった台上にボードの縁が台からはみ出ないようにすること。また、各山の一番上のボードは裏面を上面とすること。タイガーEXハイパーを屋外で保管する場合は、必ずパレット積みとすること。



- (5) 2段積みなどを行う場合は、台木の位置を各段でそろえること。
- (6) タイガーEXハイパーを踏み台にしないこと。

3-4 残材処理、清掃

タイガーEXハイパーの切断加工などを行った作業場所は清掃する。タイガーEXハイパー、その他の残材は、あらかじめ決められた置き場に集積する。

④ サイディングの荷姿、運搬、保管

4-1 荷姿

保管荷姿は、通常、ネオロック・16で最大92枚(46ケース)、ネオロック・18で最大84枚(42ケース)、フラットデザインパネル(16mm)で最大92枚(46ケース)、フィルテクトN・16で最大80枚(40ケース)、次世代外装パネル レジェール(21mm)で最大72枚(36ケース)を1パレットとしてある。

4-2 運搬

- (1) サイディングの搬入は、建築元請業者の監督員との打ち合わせにより、現場の搬入計画に基づいて行う。
- (2) 車両で運搬する時は水平に平積みすること。
ロープを掛け、角には当て木を用いること。
パレットの桁位置で荷締めすること。
パレットの桁位置以外で荷締めする場合は、パレットの中に台木を挿入してから荷締めすること。
積降ろしの際に角などを損傷しないよう、十分に注意すること。
吊上げる時は、当て板などを用いて、ロープ掛けによる損傷を防ぐこと。
パレット積みする際は、数量の少ないパレットを上にする。
- (3) 持ち運び時、サイディングは小端立てにして運び、大きくたわむような置き方や運び方をしないこと。
物に当てたり、落としたりして、サイディングの角や表面等を損傷しないよう十分注意すること。
汚れた手で触らないようにすること。

4-3 保管

- (1) できるだけ堅い平らな場所に置くこと。傾斜面、段差部には置かないこと。
- (2) 必ず、一枚ものの防水シートをかけて、雨ざらしにならないように保管すること。
- (3) サイディングは地面に直接置かず、必ずパレットか台木の上に置く。また、台木は10尺サイズに対し、5本以上、等間隔に入れること。
- (4) パレット積みは積み重ね高さ1m以下とすること。
- (5) パレット積みする際は、数量の少ないパレットを下にしないこと。
- (6) サイディングの上に重い物をのせたり、人が乗ったりしないこと。

4-4 残材処理、清掃

サイディング、その他の残材は、あらかじめ決められている指定場所に毎日清掃し、集積しておく。

*サイディングの荷姿、運搬、保管などの詳細はケイミュー(株)の「外壁材設計施工マニュアル」に従ってください。

⑤ 材 料

5-1 主構成材料

5-1-1 被覆材

ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板 (GB-R)

商品名：タイガーEXハイパー (以下、EXハイパーと称する)

(1) 規格 準不燃QM-0954-1、JIS A 6901

(2) 寸法

厚 さ 9.5mm

大きさ(標準) 910mm×3,030mm

(3) 性能

比 重 0.8±0.08

含水率 3%以下

5-1-2 外装材 (サイディング)

1) 中空窯業系サイディング

商品名：ネオロック・16

(1) 規格 準不燃QM-0674

(2) 寸法

厚 さ 16mm

大きさ 455mm×3,030mm

2) 中空窯業系サイディング

商品名：ネオロック・18

(1) 規格 準不燃QM-0674

(2) 寸法

厚 さ 18mm

大きさ 455mm×3,030mm

3) 中空窯業系サイディング

商品名：フラットデザインパネル

(1) 規格 準不燃QM-0674

(2) 寸法

厚 さ 16mm

大きさ 455mm×3,030mm

4) 中実窯業系サイディング

商品名：フィルテクトN・16

(1) 規格 準不燃QM-0674

(2) 寸法

厚 さ 16mm

大きさ 455mm×3,030mm

5) 中実窯業系サイディング

商品名：次世代外装パネル レジュール

(1) 規格 準不燃QM-0674

(2) 寸法

厚 さ 21mm

大きさ 455mm×3,030mm

※外装材は、ケイミュー（株）の窯業系サイディング「ネオロック・16,18」、「フラットデザインパネル」（16mm厚）、「フィルテクトN・16」、「次世代外装パネル レジュール」（21mm厚）全商品が使用可能です。「エクセレージ」および「セラディール」は使用できません。

※サイディングは横張り、胴縁は縦胴縁に限定となります。

5-1-3 柱

JAS規格に適合する構造用集成材または構造用製材など

□-105mm以上×105mm以上

5-1-4 中間柱（継手間柱）

JAS規格に適合する構造用集成材または構造用製材など

□-45mm以上×105mm以上

5-1-5 間柱

JAS規格に適合する構造用集成材または構造用製材など

□-27mm以上×105mm以上

5-1-6 グラスウール

JIS A 6301、JIS A 9504またはJIS A 9521

密度10kg/m³以上、厚さ85mm以上

（外被材付きのグラスウールも使用可能）

5-2 副構成材料

5-2-1 受材（胴つなぎ）（必要に応じて使用する場合には下記のものを使用する）

JAS規格に適合する構造用製材または下地用製材など

□-27mm以上×27mm以上

※当防火認定では受材は認定上必須ではありません。ただし、EXハイパーを耐力壁とし、横目地を設ける場合、耐力認定上、受材の寸法は □-60mm以上×45mm以上となります。

5-2-2 縦胴縁（必要に応じて使用する場合には下記のものを使用する）

JAS規格に適合する構造用製材、造作用製材、下地用製材など

サイディングの一般部 幅45mm以上×厚さ15mm以上

サイディングの縦目地部 幅90mm以上×厚さ15mm以上

（通気留付金具も使用可能）

※樹種はベイツガ厚さ15mm、スギ材厚さ18mmと同等の保持力が確保でき、よく乾燥してねじれ、そりのない木材を使用してください。

※胴縁は縦胴縁に限定となります。

※縦胴縁の留め付け方法は、ケイミュー（株）の「外壁材設計施工マニュアル」に従ってください。

※縦胴縁の取り付けは当防火認定上、必須ではありませんが、耐久性の観点から室外側に通気層が必要です。

原則、縦胴縁または通気留付金具を使用することにより室外側に通気層を設置してください。

5-2-3 透湿防水シート

JISA6111に相当する「透湿防水シート」厚さ0.5mm以下のもの。

5-2-4 防湿気密シート

JISA6930に規定する「住宅用プラスチック系防湿フィルム」など

※外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合、防湿気密シートの張り付けは必須となります。

※外被材付きのグラスウールを使用する場合、必要に応じて防湿気密シートを張り付けてください。

5-2-5 釘・タッピンねじ・ステーブルなど

- (1) EXハイパーの留め付け用釘 NZ50
(2) 縦胴縁の留め付け用タッピンねじ φ3.8mm以上×60mm以上
(3) 縦胴縁の留め付け用釘 リング釘 φ3.05mm以上×65mm以上
CN65以上、S75以上、N65以上
- ※縦胴縁の留め付け間隔は、N65釘を使用する場合は300mm以下、その他記載のタッピンねじ・釘を使用する場合は500mm以下としてください。
- (4) サイディングの留付金具、通気留付金具
- 留め金具(5mm)平板用(ケイミュー品番: B1005)
留め金具(5mm)ロングスターター(ケイミュー品番: B101052)
留め金具(5mm)スターター(ケイミュー品番: B100510)
通気留め金具(15mm)平板用(ケイミュー品番: B10115)
留め金具(15mm)ロングスターター(ケイミュー品番: B101152)
留め金具(15mm)スターター(ケイミュー品番: RY7464S)
- (5) サイディングの留付金具、通気留付金具留め付け用タッピンねじ: ステンレス製
- 留め金具用ビス35(木下地用) φ4.1mm×35mm(ケイミュー品番: B881135)
留め金具用ビス38(木下地用) φ4.1mm×38mm(ケイミュー品番: B881138)
- (6) 受材留め付け用釘 2-N90(小口打ちの場合)
2-N75(斜め打ちの場合)
- (7) 透湿防水シートの留め付け用ステーブル 幅10mm以上×長さ6mm
(透湿防水シートの留め付け用にはブチルゴムテープ、アクリルテープまたはスプレーのりも使用可能)
- (8) 外被材付きグラスウールの留め付け用ステーブル 幅10mm以上×長さ6mm以上
- (9) 防湿気密シートの留め付け用ステーブル 幅10mm以上×長さ6mm以上

5-2-6 外被材付きグラスウール継目処理材

材質 アクリル系テープ、ブチルゴム系テープ

5-2-7 通気スペーサー(サイディングの釘、タッピンねじ留め付け部)

留め金具(5mm)平板用(ケイミュー品番: B1005)を用いる場合
商品名: スペーサー5(ケイミュー品番: RY82S05)

- (1) 材質 ポリプロピレン
(2) 寸法 厚さ5mm×幅40mm×1,000mm(使用時は、長さ45mmに切断する。)
(3) 使用量 17個/m²以下

通気留め金具(15mm)平板用(ケイミュー品番: B10115)を用いる場合
商品名: スペーサー15(ケイミュー品番: RY82S15)

- (1) 材質 ポリプロピレン
(2) 寸法 厚さ15mm×幅40mm×1,000mm(使用時は、長さ45mmに切断する。)
(3) 使用量 5個/m²以下

5-2-8 ハット型ジョイナー

- 1) 留め金具(5mm)平板用(ケイミュー品番: B1005)を用いる場合
- 1) -1 「ネオロック・16、18」、「フラットデザインパネル」(16mm厚)を用いる場合
商品名: ハット型ジョイナーNEO(ケイミュー品番: B2721)
 - (1) 材質 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323)
 - (2) 寸法 厚さ0.3mm、長さ3,030mm
- 1) -2 「フィルテクトN・16」、「次世代外装パネル レジュール」(21mm厚)を用いる場合
商品名: ハット型ジョイナー(ケイミュー品番: B2715)または
ハット型ジョイナーNEO(ケイミュー品番: B2721)
 - (1) 材質 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323)
 - (2) 寸法 厚さ0.3mm、長さ3,030mm
- 2) 通気留め金具(15mm)平板用(ケイミュー品番: B10115)を用いる場合
- 2) -1 「ネオロック・16、18」、「フラットデザインパネル」(16mm厚)を用いる場合
商品名: ハット型ジョイナーNEO(ケイミュー品番: B2722)
 - (1) 材質 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323)
 - (2) 寸法 厚さ0.3mm、長さ3,030mm
- 2) -2 「フィルテクトN・16」、「次世代外装パネル レジュール」(21mm厚)を用いる場合
商品名: ハット型ジョイナー(ケイミュー品番: B2716)または
ハット型ジョイナーNEO(ケイミュー品番: B2722)
 - (1) 材質 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323)
 - (2) 寸法 厚さ0.3mm、長さ3,030mm

5-2-9 スプレーのり

透湿防水シートの留め付け用スプレーのり
スチレンブタジエンゴム系接着材など
(透湿防水シートの留め付け用にはステーブルも使用可能)

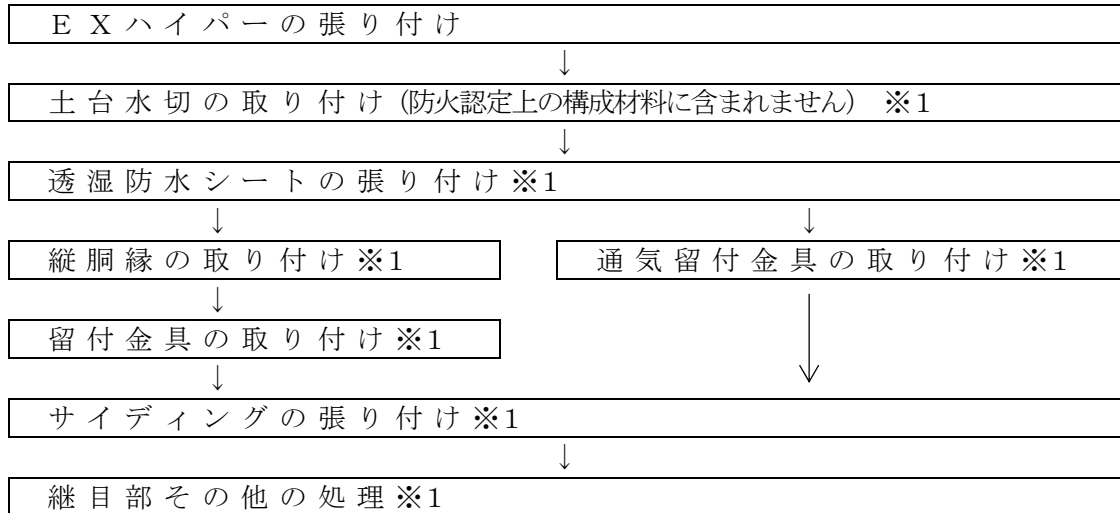
5-2-10 サイディング左右接合部の処理材

- (1) シーリング材
商品名: スーパーKMEWシールZ40(ケイミュー品番: B8440Z□□□□)、
スーパーKMEWシール40(ケイミュー品番: B8440□□□□)または
スーパーKMEWシール30(ケイミュー品番: B8430□□□□)
材 質: 変成シリコーン系
※使用するサイディングに対し、シーリングの設定が異なります。また□□□□は、色によって異なりますので、ケイミュー(株)の最新版のカタログをご確認ください。
- (2) プライマー
専用プライマー

⑥ 施工要領

6-1 標準施工手順

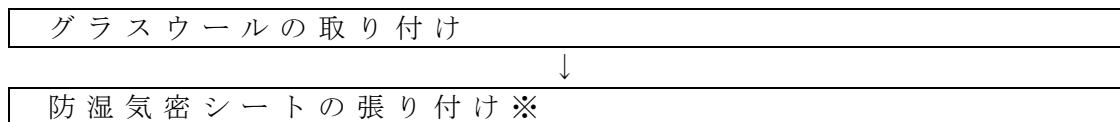
6-1-1 屋外側



※ 下地組は、吉野石膏（株）の「タイガーEXハイパー耐力壁【木造軸組大壁工法 4仕様】」施工仕様書に従ってください。

※1 ケイミュー（株）の「外壁材設計施工マニュアル」に従ってください。

6-1-2 屋内側

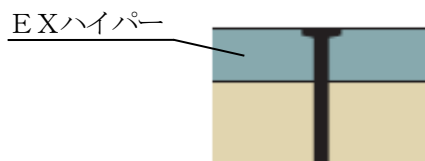


※ 外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合は、防火認定上必須となります。

6-2 施工要領

6-2-1 EXハイパーの張り付け

- (1) 耐力壁にする場合、「タイガーEXハイパー耐力壁【木造軸組大壁工法 4仕様】」施工仕様書に基づいて張り付ける。
 - (2) 壁倍率を必要としない場合、釘(NZ50)の間隔は、76~200mmとする。
 - (3) 横目地を設ける場合は、土台と梁などの間の寸法3mあたり1本とする。
- ※釘頭がEXハイパー表面と面一になるように、自動釘打ち機のエア圧を調整し、試打後に釘打ちしてください。また、樹種毎にエア圧を調整してください。



<釘打ちの概略図>

※自動釘打ち機で打ち込み不足が生じた場合、ハンマーなどで釘頭がEXハイパー表面と面一になるように留め付けてください。

※EXハイパーは、仮留めの状態で放置せず、必ず所定の釘打ちを完了させてください。

※EXハイパーの釘での留め付けは、木下地(柱、間柱、中間柱など)を外さず、釘打ちしてください。木下地(柱、間柱、中間柱など)を外した場合、釘が貫通し反対側に飛び出す恐れがあります。必ず反対側に人がいないことを確認の上、施工してください。

6-2-2 土台水切の取り付け

土台水切を墨出ししたEXハイパーに取り付ける。

6-2-3 透湿防水シートの張り付け

- (1) 透湿防水シートは、横張りとし、下から上へ張る。
 - (2) 透湿防水シートは、連続させてすき間が生じないように調整しながら、EXハイパーにステープルで留め付ける。ステープルの間隔は、縦方向では300mm以下、横方向では455mm以下、その他の部位は、たるみ、シワとならないように3,000mm以下で留め付ける。
 - (3) 透湿防水シートの継目部の重ね代は、縦方向では90~500mm、横方向では150~500mmとする。横方向の重ね代は、EXハイパーの目地と重ならないように横方向にステープル2本で留め付ける。
- ※ステープルは長さ6mmを用い、留め付けはハンマータッカーを用いてください。

6-2-4 縦胴縁の取り付け(必要に応じて取り付ける場合に限る)

- (1) 胴縁は、縦胴縁とし、サイディングの一般部は幅45mm以上、左右接合部は幅90mm以上を用いる。
- (2) 縦胴縁は、取り付け間隔を500mm以下とし、柱、間柱および中間柱の位置に釘などで500mm以下の間隔で留め付ける。

※縦胴縁の留め付け間隔は、N65釘を使用する場合は300mm以下、その他<5-2-5 釘・タッピンねじ・ステープルなど (2) 縦胴縁の留め付け用タッピンねじ、(3) 縦胴縁の留め付け用釘>に記載のタッピンねじ・釘を使用する場合は500mm以下で留め付ける。

6-2-5 サイディングの取り付け

(1) サイディングは、横張りとし、留め金具(5mm)または通気留め金具(15mm)を用いる。留め金具(5mm)は縦胴縁に留め付け、通気留め金具(15mm)は柱、間柱および中間柱に留め付ける。

※詳細はケイミュー(株)の「外壁材設計施工マニュアル」をご確認ください。

6-2-6 サイディング接合部などの処理

ケイミュー(株)の「外壁材設計施工マニュアル」に従って処理する。

6-2-7 グラスウールの取り付け

(1) 屋外側のEXハイパーを施工後、中空部にグラスウールを挿入する。外被材付きのグラスウールを用いる場合は、耳部を柱、間柱および中間柱などの室内側の見付面にステープルで約200mmの間隔で留め付ける。

(2) グラスウールは、柱、間柱および中間柱との間にすき間が生じないように充てんする。

(3) 外被材付きのグラスウールに継目部がある場合は継目処理材(アクリル系テープなど)で処理する。

6-2-8 防湿気密シートの張り付け

(1) 防湿気密シートは、横張りとする。

(2) 防湿気密シートは、連続させてすき間が生じないように調整しながら、柱などにステープルで留め付ける。ステープルの間隔は、シートの継目部および上下端部では200~300mm、その他の部位は、たるみ、シワとならないように3,000mm以下で留め付ける。

(3) 防湿気密シートの継目部の重ね代は、30mm以上とする。

※外被材なしのグラスウール(裸品)を使用する場合には防湿気密シートは必須となります。

※外被材付きのグラスウールを使用する場合には必要に応じて使用してください。

6-2-9 その他設計、施工上の留意点

- (1) この「施工仕様書」は、認定書の中から推奨する材料を明記してあります。この「施工仕様書」に明記していない認定範囲の材料を用いる場合、認定番号PC030BE-4096の認定書に記載してある材料に限定されます。
- (2) 壁高および壁幅については、構造計算などにより構造安全性が確かめられた寸法としてください。
- (3) EXハイパーを耐力壁とする場合は、柱の寸法は105mm角以上、中間柱および間柱の見込み寸法は105mm以上となります。留め付けピッチ、その他条件は、認定番号FRM-0678、FRM-0679、FRM-0680、FRM-0734の耐力壁認定書に従ってください。
- (4) EXハイパーは、仮留めの状態で放置せず、必ず所定の釘打ちを完了させてください。
- (5) EXハイパーの施工後は、速やかに透湿防水シートを施工してください。
- (6) 雨天時の屋外側の施工は、避けてください。
- (7) 雨天後の屋外側の施工は、事前に施工完了箇所が十分に乾燥していることを確認してから行ってください。
- (8) 当壁構造に開口部を設置する際は、建築地域の条件に従ってください。
- (9) 当防火認定では、外装材は、ケイミュー（株）の窯業系サイディング「ネオロック・16, 18」、「フラットデザインパネル」（16mm厚）、「フィルテクトN・16」、「次世代外装パネル レジェール」（21mm厚）全商品が使用可能です。「エクセレージ」および「セラディール」は使用できません。
- (10) 当防火認定では、サイディングは横張り、胴縁は縦胴縁に限定となります。
- (11) 防蟻および防腐処理された胴縁を用いる場合は、施工中に雨水にさらされないよう、速やかにサイディングを施工するか養生をしてください。
- (12) 防湿気密シートは外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合には当防火認定上、必須となります。
- (13) 縦胴縁の取り付けは当防火認定上、必須ではありませんが、耐久性の観点から室外側に通気層が必要です。原則、縦胴縁または通気留付金具を使用することにより室外側に通気層を設置してください。
- (14) 内装材（被覆材）の記載がない当防火認定につきまして「令和7年6月30日付国住指第150号、国住参建第1574号に関するQA」の通り、防火構造の外壁の認定であって屋内側についての記載がないものにおいては、加熱面以外の面となる屋内側は、大臣認定仕様への適合の必要がある範囲ではないため、屋内側に内装材（被覆材）を設けることは大臣認定不適合とはなりません。内装材（被覆材）を採用する場合は、あらかじめ指定確認検査機関などに必ずご確認ください。
- (15) 当壁構造での曲面壁の設計・施工はできません。

⑦ 検査

7-1 自主検査

工程	項目	要点	方法	基準	管理方式
下地の組み立て	柱 中間柱 間柱	間隔	スケールなど	柱と間柱の間隔 500mm以下 ^{※1} 中間柱と間柱の間隔 500mm以下 ^{※1} 中間柱と柱の間隔または間柱を介する場合、中間柱相互の間隔 1,000mm以下 ^{※1}	チェック検査
EXハイパーの張り付け	目地	突き付け	目視	突き付け張りで張っていること	
	釘	種類	箱の表示など	NZ50	
間隔		スケールなど	200mm以下 [※]		
透湿防水シートの張り付け	透湿防水シート	厚さ	スケールなど	0.5mm以下	
	継目	重ね代	スケールなど	縦方向 90~500mm 横方向 150~500mm	
	ステープル	サイズ	スケールなど	幅10mm以上、長さ6mm	
		間隔	スケールなど	縦方向300mm以下 横方向455mm以下	
状態	シワ・たるみ	目視	シワ・たるみがないこと		
縦胴縁の取り付け	胴縁	厚さ	スケールなど	15mm以上	
		幅	スケールなど	サイディング一般部 45mm以上 サイディング左右接合部 90mm以上	
	タッピンねじ	胴部径	箱の表示など	3.8mm以上	
		長さ	スケールなど	60mm以上	
		間隔	スケールなど	500mm以下	
	リング釘	胴部径	箱の表示など	3.05mm以上	
		長さ	スケールなど	65mm以上	
		間隔	スケールなど	500mm以下	
	太め鉄丸釘	種類	箱の表示など	CN65以上	
		間隔	スケールなど	500mm以下	
	ステンレス鋼釘	種類	箱の表示など	S75以上	
		間隔	スケールなど	500mm以下	
	鉄丸釘	種類	箱の表示など	N75以上	
		間隔	スケールなど	500mm以下	
鉄丸釘	種類	箱の表示など	N65		
	間隔	スケールなど	300mm以下		
サイディングの張り付け	左右接合部	目透かし	スケールなど	10mm以下	
	留付金具	品名・品番	箱の表示など	留め金具(5mm)平板用 ケイミュー品番：B1005	
				留め金具(5mm) ロングスターター ケイミュー品番：B101052	
				留め金具(5mm)スターター ケイミュー品番：B100510	
	位置	目視	縦胴縁に取り付けてあること		
間隔	スケールなど	水平方向500mm以下			

注)：上記表は、防火構造の認定条件を満たす検査項目となります。施工監理上、必要な検査項目は別途、現場毎にご検討ください。

※1：EXハイパーを耐力壁とする場合、「タイガーEXハイパー耐力壁【木造軸組大壁工法 4仕様】」施工仕様書に従って施工してください。

木造軸組外壁 EXH-Y16 ケイミュー
窯業系サイディング仕様 施工仕様書

B-041-17

工程	項目		要点	方法	基準	管理方式			
サイディングの 張り付け	通気留付金具		品名・品番	箱の表示など	通気留め金具(15mm)平板用 ケイミュー品番: B10115	チェック検査			
					留め金具(15mm) ロングスターター ケイミュー品番: B101152				
			位置	目視	留め金具(15mm)スターター ケイミュー品番: RY7464S				
					柱・間柱・中間柱に取り付けて あること				
			間隔	スケールなど	水平方向500mm以下				
	留付金具、 通気留付金具 固定用	タッピンねじ		品名・品番	梱包表示など		留め金具用ビス35(木下地用) ケイミュー品番: B881135		
							胴部径	梱包表示など	4.1mm
							長さ	スケールなど	35mm
		タッピンねじ		品名・品番	梱包表示など		留め金具用ビス38(木下地用) ケイミュー品番: B881138		
							胴部径	梱包表示など	4.1mm
長さ						スケールなど	38mm		
サイディング接合部 の処理	ハット型ジョイナー		品名・品番	箱の表示など	留め金具(5mm)平板用 (ケイミュー品番: B1005) を用いる場合 ①ネオロック・16, 18、フラットデ ザインパネル(16mm厚)を用いる 場合 ハット型ジョイナーNEO (ケイミュー品番: B2721) ②フィルテクトN・16、次世代外装パ ネル レジェール(21mm厚)を用い る場合 ハット型ジョイナー (ケイミュー品番: B2715) または ハット型ジョイナーNEO (ケイミュー品番: B2721)				

注) : 上記表は、防火構造の認定条件を満たす検査項目となります。施工監理上、必要な検査項目は別途、現場毎
にご検討ください。

木造軸組外壁 EXH-Y16 ケイミュー
窯業系サイディング仕様 施工仕様書

B-041-18

工程	項目	要点	方法	基準	管理方式
サイディング接合部の処理	ハット型ジョイナー	品名・品番	箱の表示など	通気留め金具（15mm）平板用 （ケイミュー品番：B10115）を用いる場合 ①ネオロック・16, 18、フラットデザインパネル（16mm厚）を用いる場合 ハット型ジョイナー-NEO （ケイミュー品番：B2722） ②フィルテクトN・16、次世代外装パネル レジュール（21mm厚）を用いる場合 ハット型ジョイナー （ケイミュー品番：B2716） または ハット型ジョイナー-NEO （ケイミュー品番：B2722）	チェック検査
		目透かし部	目視	使用していること	
	シーリング材	品名・品番	箱の表示など	スーパーKMEWシールZ40 （ケイミュー品番： B8440Z□□□□※2）	
				スーパーKMEWシール40 （ケイミュー品番： B8440□□□□※2）	
		スーパーKMEWシール30 （ケイミュー品番： B8430□□□□※2）			
	充てん	目視	すき間がないこと		
スケールなど	左右接合部 充てん高さ5mm以上				
グラスウールの取り付け	グラスウール	密度	梱包表示など	10kg/m ³ 以上	
		厚さ	梱包表示など	85mm以上	
	外被材 （外被材付き断熱材を用いる場合）	厚さ	梱包表示など	18～50μm	
	挿入	すき間	目視	すき間がないこと	
	ステーブル （外被材付き断熱材を用いる場合）	サイズ	スケールなど	幅10mm以上、長さ6mm以上	
		間隔	スケールなど	300mm以下	
	位置	目視	柱、間柱または中間柱などに留め付けてあること		
継目部 （外被材付き断熱材を用いる場合）	処理	目視	継目処理材（アクリル系テープなど）で処理してあること		
防湿気密シート （外被材なしの断熱材を用いる場合）	状態	シワ・たるみ	目視	シワ・たるみがないこと	
	ステーブル	間隔	スケールなど	シートの継目部および上下端部 200～300mm その他の部位3,000mm以下	

注)：上記表は、防火構造の認定条件を満たす検査項目となります。施工監理上、必要な検査項目は別途、現場毎にご確認ください。

※2：□□□□は、色によって異なりますので、ケイミュー(株)の最新版のカタログをご確認ください。

7-2 立会い検査

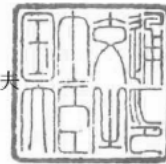
立会い検査は、建築元請業者の監督員の指示に基づいて行う。

認定書

国住参建第 4202 号
令和 5 年 2 月 28 日

ケイミュー株式会社
代表取締役社長 木村 均 様
吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



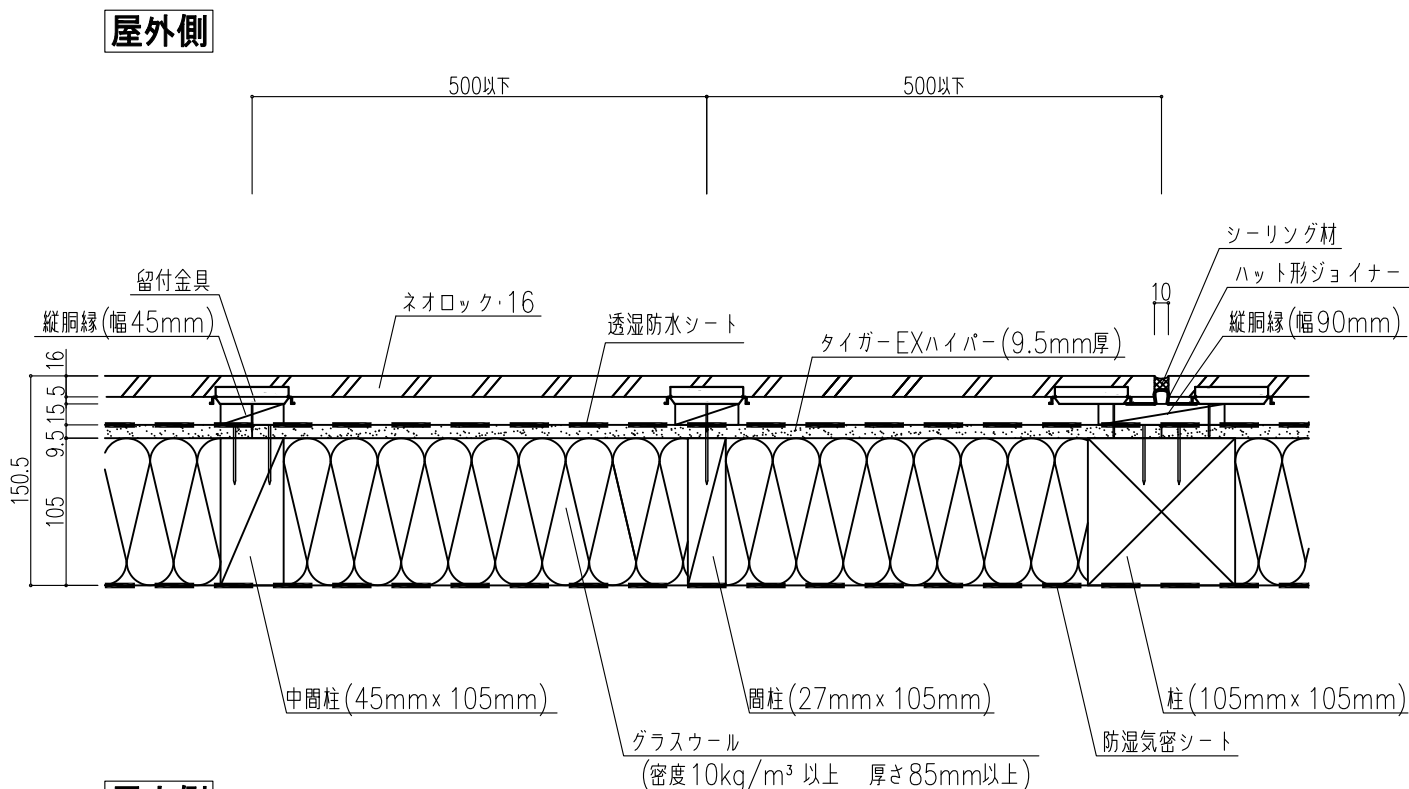
下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-4096
2. 認定をした構造方法等の名称
人造鉱物繊維断熱材充てん/パルプ繊維混入セメントけい酸カルシウム押
出成形板・ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板表張/木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

水平断面図



屋内側

- ※サイディングは、ケイミュー（株）の窯業系サイディング「ネオロック・16, 18」、
「フラットデザインパネル」（16mm厚）、「フィルテクトN・16」、「次世代外装パネル
レジェール」（21mm厚）全商品が使用可能です。「エクセレージ」および「セラディー
ール」は使用できません。
- ※サイディングは横張り、胴縁は縦胴縁に限定となります。
- ※縦胴縁なしの通気留付金具工法も施工が可能です。
- ※サイディングの施工はケイミュー（株）の「外壁材設計施工マニュアル」に従って
ください。
- ※外被材付きのグラスウールを使用する場合は、当防火認定上、防湿気密シートは省略
可能です。
- ※内装材（被覆材）の記載がない当認定につきまして「令和7年6月30日付国住指第
150号、国住参建1574号に関するQA」の通り、防火構造の外壁の認定であっ
て、屋内側についての記載がないものにおいては、加熱面以外の面となる屋内側は、
大臣認定仕様への適合の必要がある範囲ではないため、屋内側に内装材（被覆材）を
設けることは大臣認定不適合とはなりません。内装材（被覆材）を採用する場合は、
あらかじめ指定確認検査機関などに必ずご確認ください。